

## 平成 20 年度 日韓共同理工系学部留学生事業推進フェア

1. 日時： 2008 年 8 月 30 日（土）9:30～17:00
2. 場所： 大韓民国 国立国際教育院（ソウル）
3. 大阪大学からの参加者：  
熊谷悦生（基礎工学研究科講師）、Wilson Agerico Tan Dino（理学研究科講師）、森本健志（工学研究科講師）、脇成吾（学生交流推進課）、酒井理（学生交流推進課）、西村謙一（留学生センター准教授）、Lee Jong-Won（理学研究科院生、KOSMOS 3 期生）、Noh, Sam-yeul（基礎工学部学生、KOSMOS 5 期生）  
(参考) 日本からの参加大学（国立大学法人）：29 大学 （資料参加大学 7 大学）
4. 対象者：第 10 期日韓共同理工系学部留学生事業における筆記試験合格者 150 名とその保護者
5. フェアにむけた本学の準備について（本年度の特徴）
  - ・受入学部の学部紹介を韓国語に翻訳したパンフレットを用意（100 部）
  - ・受入 3 学部とも、学部紹介の DVD を用意
  - ・本学在学中のプログラム学生 2 名（理学研究科、基礎工学部）が通訳として同行
6. 主な質問内容
  - ・工学部内、工学部と基礎工学部間で類似・重複する学科の教育・研究内容の違いについて質問が集中した
  - ・研究分野では、ロボット関係、生物工学、化学分野についての質問が多く見られた
  - ・日本からの参加大学の中における大阪大学の位置づけ・順位
  - ・筆記試験の成績からみた大阪大学合格の可能性
  - ・受入定員に対するこれまでの受入数
  - ・大阪大学での予備教育の内容（科目、内容、言語について）